

SHIN CLUB 243

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「株式会社辰 東横店」 撮影：齋部功

今月のトーク/monthly talk

快適工場

写真は、3月にオープンした、(株)洋菓子舗ウエスの新しい工場です。弊社は、2008年にウエスの「青山ガーデン」の施工をさせていただきました。(ShinClub104) 豊かな緑の庭を持つレトロな雰囲気のカフェでは、上階の工場で作ったばかりの温かいデザートもお客様にご提供できるということでいつ訪れてもたくさんのお客様でにぎわっています。

もともと日野には木造で築55年の工場がありましたが、社長の依田龍一様によると、事業とともに手狭になり、近隣の一般の住宅をさらに2件買い取って、そこを従業員の食堂にしたり更衣室にしたりしてこれまで凌いでいらしたとのこと。大きな地震が来たらということもあり、耐震性に優れた建物に建替たいというお気持ちが以前からあったそうです。

「うちの場合、工場といってもほとんど職人さんによる手作りの仕事です。大きな機械でつくっているものだったら、どこに移動してもかまわないでしょうが、新しく開発しているものも手作り。大事なのは職人さんです。職人さんが通える範囲の中で新しい土地が必要でした。でもそんな都合のいい場所はないだろうと言っていたのです」と依田様。創業以来、「人工の香料・色素等をできるかぎり使用せず、材料本来の風味を生かすべく、ひとつひとつ職人の手作業による成形」をモットーとしてこられたウエストさん。職人さんの手仕事、あのおいしいリーフパイやクッキー、ドライケーキを生み出していたのです。

ところが、日野市が行っている土地区画整理事業で、たまたま良い広さの土地が出て、建物の移転が可能となりました。これまで山梨の工場と日野工場の二つの工場で作ったものは、国立の配送センターに集積することになっていましたが、今回の土地は、その国立の配送センターとも

近い場所です。

「ここだったら両方の人たちが通える。まさに運命的な出会い。ここ以外ないという土地でした。迷わず手に入れました」と依田様。

2,165㎡、工場としての広さはもちろん、配送センターも合併することになり、あちこちばらばらに借り上げていたスタッフの駐車場も敷地の向かい側に確保、さらに2台しかなかった直売店の駐車場も今度は目の前にある程度の台数が停められるようになりました。

オープンの日を迎えました。しかし予定されていたパーティなどは残念ながらコロナ感染症流行の心配が出て、依田社長は2月早々には中止を決定されました。食べ物を扱う会社が万一の事態を起こしてはとのこと。ゲストの方々に工場見学にご案内することにとどまりました。

その後、東京都が3月25日に外出自粛要請をし、4月7日、国は緊急事態宣言を発令。人々は外出を控え、会社も極力テレワークを行い、経済の流れは途絶えました。しかし5月25日、直近1週間の10万人当たりの新規感染者数が0.5人程度以下という目安を受けて、緊急事態宣言はやっと全域解除へと動き出しました。

感染症流行が言われ始めてほぼ4か月、まだ安全と手放しでは喜ぶことはできませんが、もはや、私たちは新しい暮らし方に進まないといけないうフェーズに入っています。工場は働く人のために作業しやすい動線などいろいろな工夫が施されています。新たな環境での皆様のスタートを心よりお祝い申し上げます。

(株)洋菓子舗ウエスト 日野工場 / 配送センター



建物全景。屋上緑化も施している



住宅地と接する西面はマンションのような表情のファサード



玄関へのアプローチ



コンビニの配送センターが対面する東側ファサード



北側の配送ヤード。南側の道路を挟んで従業員の駐車場も確保



東南側の店舗入口。サッシは依田社長がデザインされた

工場のスタッフと共に作り上げた快適空間

菓子製造工場と配送センターの新築計画である。計画に先立ち山梨と日野の工場に見学に行った。工場長から「こんな感じの大きさの部屋」などのスケッチを見せていただいた。それから2つの工場を2度、3度と訪れるうちにウエストの菓子作りをやっと理解した。それまではお菓子作りとはベルトコンベアで自動的に流れてくるものとばかり思っていたからだ。ウエストのお菓子づくりはそうではなく、職人さんが手作りで一つずつ、丁寧に作り上げる「人間が主体」の現場である。気持ちよく、快適な職場環境でないといけないものがない。どういう動きをしたら、スムーズに商品を作ることができるのか、部屋の広さ、作業の動線、一日の流れ、商品の出荷まで、人間を主体に建築を組み立てていくことになった。

2,165 m²の敷地は再開発地域の一区画で、延床面積 3,620 m²に工場・事務所・配送センター・売店の入るエリアと、食堂や従業員の休憩の場となるエリアの構成である。

建物の東側にはコンビニの配送センターがあり、四角い建物に合わせて無駄のない形のファサードとした。一方、西側は住宅が多い。集合住宅に近い雰囲気でも凹凸をつけた外観。植栽にも垣根のように見える樹種を用いた。東の工場エリアの1階は、事務室と配送センター、製品の出荷ヤードである。東南側のコーナーに直売店を配置、亜鉛メッキのフレームで庇を設け、小さな庭も設けている。西エリアとの間に工場出入口に続くアプローチが伸びる。2階は商品の梱包、仕分けのコーナーである。繊細なクッキーなどは人の手による作業が欠かせない。3階はお菓子の生地を作り、オーブンで焼き上げる製造コーナーである。旧工場から移設の生地作りのミキサー、オーブンなどはいずれも小型で使い込まれている。従業員は入室の際は、前室で手洗いを徹底し、エアシャワーを浴びて持ち場に入る。西エリアの1階は従業員の入口、2階は男女別更衣室・休息室、3階が食堂となっている。くつろぎの場である食堂は布をつかった空調ダクト「DUCTSOX」を採用した。結露のリスクがなく、優れた通気性で綺麗を保つ、高天井のシステムである。仕上げの材料には少しこだわり、食堂の壁には卵の殻を使ったエッグペイントを使い、休憩室は同様にエッグウォールという壁紙を貼った。床は木の無垢材のフローリングを採用、足触りがよいものになっている。

スタッフの方との検証を繰り返し、ほぼ満足いただけたのはありがたいことであった。

(鈴木孝紀氏 談)



天窓からの光が柔らかいカフェスタイルの食堂。空調設備は布製エアダクトの「DUCTSOX」を採用



高い天井、脱気ダクトが熱と匂いを逃す3階の焼物室

構造：S造
規模：地上3階
用途：工場・事務所・店舗・配送センター
設計・監理：鈴木孝紀 / 鈴木孝紀建築設計事務所
竣工：2020年2月
施工担当：村田・谷田・齋藤(敏)・鍋島
撮影：齋部功

●住所：東京都日野市日野1 5 45
●営業時間 月～土：10:00～19:00
日・祝：10:00～17:00
●電話番号 042-843-2248

コロナ自粛を経て

依田龍一／(株)洋菓子舗ウエスト 代表取締役

人気のギフトセレクション
「ドライケーキ詰め合わせ」

Ryuichi Yoda



依田龍一社長 日野工場 食堂にて 撮影：アック東京

今月は日野工場をオープンされた、(株)洋菓子舗ウエストの依田龍一社長、そして設計の鈴木孝紀様にご同席いただき、お話を伺いました

—3月に新工場がオープンされました。皆様の反響はいかがですか。

依田：従業員はとても満足していて、特に食堂については、以前はテーブルを一列に並べたものでしたが、今回はカフェのように丸いテーブルを囲んでグループで座れることもあり、評判がいいですね。

工場も、今までは限られた空間でやっていたので、職人さんにしても、行ったり来たりが無駄があったわけです。それが今回は、ゼロからのスタートでまさる状態から設計するのですから、どういうレイアウトが一番効率的に動けるか、理想的な形で作れました。そういう意味で完璧に作っていただくことができました。

床も普通、製造業の工場というと緑色にしているところが多いのですが、うちはクリーム色の目に優しいカラー、ウエストのテーマカラーにしてもらいました。

鈴木：内装の色は、依田社長に決めていただきましたね。

—以前、弊社で施工させていただいた青山ガーデンも依田様のご希望で植栽が豊かな建物でしたが、ほかにも照明や建具などにもお考えが反映されていました。

鈴木：今回の日野工場の直売店舗の照明も、香港店の照明を依田社長が持ち帰られたものです。サッシの割付けなどもデザインされました。

依田：香港店は少し前に撤退したのですが、照明は二度と作れないもので気に入っていたので（笑）。中国は最初に相当資金など投入して、一気に認知されないとだめですね。うちのようには10年かけて少しずつというのは合わない。しかし撤退を決めたとき、現地で騒ぎがあり、1月からはコロナもあり、早めに動いたことは幸いでした。

—そのコロナですが、影響で喫茶部門は休業されていましたね。

依田：そうですね。銀座本店も青山ガーデンも喫茶部門は全ての店で営業を自粛していました。また一番の販売拠点である百貨店が閉まっているのですから、作りすぎないようにと工場の稼働には制限がかかってしまっって一時クローズしていました。が、ここにきて営業再開の予想が出てきているので、現在半分くらいの間人が出てきて稼働を始めています。（取材は首都圏自粛解禁の5日前）

オンラインも伸びましたね。弊社、楽天さん、amazonさん経由で、それぞれ全部増えました。「ソフトタルト」「バタークッキー」の表面に直接メッセージや会社ロゴなどをお入れ出来る「文字入れサービス」も始めました。

一人との接触を避けるため、食品の宅配需要は飛躍的に増えていますね。依田：今回、いろいろと制限が加わりましたが、その代わり通販の需要が何倍も生まれました。弊社では、通販は今まで補助的な形でセットの商品しか扱っていませんでしたが、今回非常事態の措置として1個1個包装し、販売しました。これがお客様から人気が、「これは百貨店が再開してもぜひ続けていきたい」と思いました。1個でも2個でも、と可能性を感じましたね。

社会全体を見回しても、今後、実際の店舗は少なくなっていくだろう、と思いますね。そうでなくても手に入る方法があるので。また、仕事をしていく上でも、これまで何のこともなく会議をやっていたけど、パソコンを通じて十分できることがわかり、遠くから大勢が時間をかけて集まってやることもない。そういう意味で世の中だいが変わるだろうと実感しました。今回のことは世の中の大変革を生み出すだろうと思いますよ。

—東京圏で販売しているウエストのお菓子は、「東京みやげ」としてファンが多いわけですが、地方のお客様もますます気軽に注文できるようになる、ということですね。

依田：食べ物、パソコンを通じて食べるわけにはいきませんので、この商品は未来永劫続く、それは私たちの基本です。地方の方にも召し上がっていただく機会を増やし、新しい工場ができたことで従業員の働く環境を守りながら、近隣の皆様にも親しみを持っていただきたいですね。—本日はありがとうございました。

※なお、You Tube で以下の項目のウエストの紹介がご覧になれます。

- ・銀座ウエスト 総合編
- ・銀座ウエスト 青山ガーデン編
- ・銀座ウエスト 一宮工場編（山梨）
ぜひご覧ください。

株式会社洋菓子舗ウエスト

創業：1947年1月4日
 資本金：1,500万円 事業内容：洋菓子製造販売及び喫茶業
 本店所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目3番6号
 従業員数 401名（うち正社員 222名）
 年間売上高：37億1千万円（2019年8月期）
 代表取締役：依田龍一
 喫茶室・売店：銀座店、青山ガーデン、バイカフェヨコハマ（横浜高島屋3F）
 売店：日本橋高島屋／横浜高島屋／新宿高島屋・玉川高島屋／日本橋三越／銀座三越
 ／新宿伊勢丹／浦和伊勢丹／新宿京王／渋谷東急本店／吉祥寺東急／渋谷東横のれん街／池袋東武／東京駅丸の内／上野松坂屋／赤坂サカス店
 製菓工場・配送センター：日野工場（及び直売店）／日野配送センター
 一宮工場（及び直売店）：〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1951
 青山工場：〒107-0062 東京都港区南青山1丁目22番10号 青山ガーデン内



写真上：1階店舗の前で。入口の照明は香港店から持ち帰ったもの。植栽も豊かに計画
 写真右上：設計の鈴木孝紀氏と
 写真右下：青山ガーデン（2008年弊社施工）



「ZENグループ 新入社員研修」 3月 於：ZEN 伊豆山研修センター

毎年恒例のZENグループ全体の新入社員研修が、今年も伊豆山研修センターで行われました。今年にはコロナ禍もあり、ソーシャルディスタンスに配慮して、例年よりも大きな会議室を利用。マスク装着の上、基本的に午前は座学、午後は「作務(さむ)」という、禅寺で僧が掃除などを行う修行を意味する労務研修が、3週間にわたって行われました。6人編成の4つの班に配属されて、グループ他社の新人たちと協力しながら、与えられたミッションに取り組んだ5人の新人たちに、感想を聞きました。



A班「猪小屋の清掃・修復」

2年前に、裏山で捕らえた猪を入れておいた小屋が昨年壊れたため今回新たに作り直すという計画である。

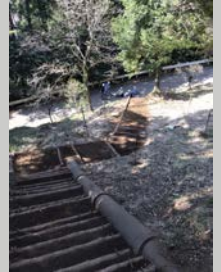
古い小屋の柵を外し、特に猪の糞まみれの土を運び出して新しい土を入れるのに予定よりかかってしまった。最初、けん制し合っていたメンバーは次第にチームワークがよくなり、新たに柵を作って扉も軽くて丈夫なものに作り替えた。(吉田郁哉)



C班「階段づくり」

阿主南寺へ続く坂に階段を作る作業である。草木を伐採し、整備していく計画だが、役割分担を決めてスケジュール通りに終わることができた。

何より楽しくできたのは、音楽好きなメンバーがいたからだろう。休憩時間中に彼が歌い、他のメンバーが手拍子でリズムをとる、セッションのような雰囲気生まれ、音楽が互いのコミュニケーションの潤滑剤になったと感じている。(渡辺侑馬)



B班「阿主南寺周辺の清掃」

研修センターの近くにほぼ完成している「阿主南寺」の清掃である。地下1階、地上3階の大きな建物をほうきとモップできれいにしていくのだが、建物を囲む池では、初めて大型高圧洗浄機で水圧をかけながらの清掃を行った。3月はまだ肌寒く、日が沈むのも早かった。震えるような日もあったが、良い経験となった。(上田智也)



D班「山道を作る」

何も無い山林に道を作るというのは全く初めての経験だった。研修センターから見晴らし台への道を、下から上へ作っていく作業は過酷な肉体労働で、日に日にきつくなっていった。完成した時は感無量だった。(井田薫)

大学ではダンス部に所属し、体力はある方だと自分では思っていたが、足場もないところで大きな石を取り除いたり、草を刈って切った丸太で杭を作ったりする作業はなかなかかかどらず、4班のうち一番喝を入れられ続けた。最後に皆で完成させたときは泣きそうになった。(伊藤真由子)



「辰 新入社員社内研修」 4月~5月

グループ全体の研修の後には、いよいよ辰本社において、2か月かけて、実地に即した新人研修が行われました。まず「積算」を開発営業部若井課長が指導。現在施工中の施工図を元に積算し、実際に現場確認をして理解を深めました。

続いて「施工図」の図面の描き方を、CADを用いて技術部夏井部長が講習しました。線を1本引く基礎から始まり、終盤には構造設計図から施工図を起こすという作図も体験。みな悪戦苦闘しましたが、充実した研修となったようです。

そして開発営業部石井部長が現場調査、いわゆる現調の資料づくりについて指導。地図作成や現場に実際に行き撮影を行い、工事着工までの準備について学びました。

そして、5月28日には、カスタマー室小関室長が「●●を科学する」と題して●●の中に歴史、社会、評価、正義...など様々な言葉を入れながら、最後に「自分」を入れて、未来の可能性を考えさせるというユニークな講義を行いました。新たな自分を作り出し、会社とともに成長し続けていきたいものです。



ゲストに吉田監査役を迎え、7階の会議室で指導する小関室長

「(仮称) 市谷左内町023プロジェクト」新築工事 地鎮祭 2020年5月14日



コロナウイルスによる緊急事態宣言下のため縮小しての地鎮祭でしたが、建物はしっかり施工いたします。

構造：RC造
規模：地下1階、地上5階
用途：共同住宅・長屋
設計・監理：木下道郎ワークシヨップ
完成予定：2021年8月

「(仮称) 高輪台-PJ」新築工事 安全祈願祭 2020年5月18日



喧嘩から離れ静かな住宅地に共同住宅を建築させていただきます。

構造：RC造
規模：地下1階、地上3階
用途：共同住宅
設計・監理：空間研究所
完成予定：2021年4月

編集後記

・最後に残っていた首都圏の自粛が解除されましたが、感染予防のスタンスは変わりません。リモートワークも含めて、新たな働き方でこの経済への大打撃を乗り越えていかなくてはなりません。

(株)辰 通信 Vol.243 発行日 2020年6月10日
編集人：松村典子 発行人：岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。
バックナンバーもPDFで掲載しています。
スマホはこちらから→

